



藤枝民商ニュース 9/26より

全国業者青年交流会に参加しました

9月17～18日(日・月・祝)に掛川市のつま恋で全国業者青年交流会が開催され、藤枝民商からの30～45歳の青年業者8人(別途子供2人)が参加し、全国から479人が参加しました。

17日はまず「アクションをおこせば商売・社会はもっとよくなる」と題してパネルディスカッションが開催され、京都大学教授の岡田知弘さんをコーディネーターに、SADL(民主主義と生活を守る有志)のFusaさん、あすわか(明日の自由を守る若手弁護士(会))の内山さんらをパネリストとして招き、社会情勢や仕事について、なぜそのような運動を進めているのかなどを語りました。

夜には、参加者全員が集まり、立食形式で夕食を取りながらの交流会となりました。多くの参加者が名刺交換を行い、自分の商売や今後の希望について語り合ったり、中にはステージにあがって、自己紹介をする人がいたり、アーティストとしてライブ活動を行っているOneFreeNineのミニライブなどいろいろな参加者がいて、藤枝民商からの参加者の人たちも交流会を楽しんでいました。



18日は午前11の専門分科会に分かれ、藤枝民商からの参加者は「法人・個人どっちがいいの? 税理士と話す!」の「税務調査から身を守る!」という分科会に参加しました。参加者からは「とても参考になった」「今まで知らなかったことばかりな

ので、聞いてメモしてくりの余裕がなかったけど、いい学習の機会になった」「次回もまた参加したい」などの感想が寄せられました。

藤枝税務署交渉

国民の立場に立った税務行政を強く求める

9月15日(木)午後、藤枝税務署へ藤枝民商からの申入れを行いました。当日は堀江会長他役員・事務局の計7名が参加し、藤枝税務署からは総務課長と総務係長の2名が対応しました。

すべてではありませんが、交渉内容については以下のとおりです。

○ 憲法や国会決議、税務運営方針にそった税務行政を行うこと。また、税務署員はそれを身につけること。

↓各種法令を遵守している。税務運営方針は原則論で、理解を得ながらやっている。

○ 来署しなければ税務調査をするというような文言の入ったお尋ね文書の乱発をし、税務調査に移行するような違法な行為はやめよう。

↓国税通則法に沿って、税務調査での予見の可能性を高めるためにお尋ね文書は送付している。

○ 税務調査に際し、文書での事前通知の送達、理由開示を行うこと。

↓調査理由は事前通知事項ではない。事前通知については電話により口頭で行う。納税者に確実に伝わるようにしている。

○ 反面調査は、納税者の承諾を得た上で、必要最小限にすること。事前の反面調査は絶対にしていないこと。

↓資料が足りない場合など客観的にやむをえない場合、反面調査を行う。また先に反面調査を行うこともある。

おおよそこのような回答でした。回答後の質疑応答の中で「昨年に続き、事前通知の項目をほとんど言っていないとの税務調査の対象者から言われている。事前通知がない場合は法的不備があるので、税務調査自体が無効になるのでは? 確実に事前通知事項が伝わるためにも事前通知事項を文書で送達してほしい」との要望に、総務課長は「法的不備があった場合、税務調査が無効になることもありえる。事前通知については電話で口頭で行う。変わることはありません」など、藤枝民商が納税者の権利に沿った要望を出しても、まったく納税者に歩み寄ろうという気持ちを感じられな

いような回答でした。今年の個人の税務調査も始まっています。税務署から連絡や文書が届いた場合、どうしていいかわからない場合は必ず民商へ相談してください。

島田民商ニュース 8/8より

7月30日(土)に初倉コミュニティ「くらら」で行った総会に23人が参加しました。参加者からの報告では長年、住民からの請願がなかったため、議会進行に戸惑っていたなど内部事情が判明しました。このこと



から住民が「おかしい」と思ったことについて改善の要求をしなれば、住民の声を聞く体制も崩壊してしまうことが明らかにになりました。

年金は下がる一方で、国保や介護保険料は上がるなど、「おかしい」と思うことは多々あると思います。その思いを行動に移さなければ、今後ますます「負担だけがが増えていく社会」へと進むんだと実感しました。



8月4～6日に「核兵器のない平和で公正な世界を。被爆者とともに核兵器のない世界の扉を開こう」と原水爆禁止2016年世界大会広島が行われ、東支部の正田さんが参加しました。(報告の抜粋。原文は民商事務所にあります。)

浜松民商ニュース 9月号より

2016年原水爆世界大会・広島 正田朋広

広島は二回目の参加になります。会場に行く途中に広島城の被爆樹木を見て行きました。爆心地から一キロ程度の場所でありながらも青々と葉を茂らせている木々の力強さに感動しました。開会総会で日本被団協代表委員の岩佐幹三さんが第一回世界大会に参加し五千人の参加者とともに大会議事を聞きこれが平和運動の始まりで現在87歳、いまだに原爆は被害をもた

らし続けていると話してくれました。やはり核兵器、原発など長い問題でこれからも続いていく運動だと感じました。開会宣言でもオバマ大統領が被災地を訪れ被爆者の方とハグをし「核なき世界を追求する」発言したのに対し被爆国の安倍政権は核廃絶に背を向けています。政策転換を迫るためにも



「ヒバクシャ国際署名」すすめ力にして行かなくてはいけないと発言されました。そして他の発言でも現政権の行っている状況への問題が多く意見されました。開会総会が終わったあと今回はRing! Lin

k! Zero「核兵器をなくす青年交流会in広島」に参加しました。13歳のときに被爆した中村雄子さんの話を聞くことが出来ました。話を聞いたアメリカの学生が自分の学校にも来て話してほしいと言っていたのが印象的でした。参加して本当によかったと思っただけ色々と考えている学生など若い方がたくさんいると再認識出来たこと、一年間今迄とは違った取り組みで運動を続けたが思いのほか広がらずどうしたものだろうと思っていました。場所とタイミングで人がいないわけではないと、やはり続けてタイミングがあつた時にいつでも参加できる場所は作っておかないといけないと感じました。

二日目の分科会は「核兵器と原発」に参加させてもらいました。会場に入れないくらいの人数で会場いっぱいでした。その中で「避難住宅打ち切りの撤回と、避難用住宅の長期無償提供を求める署名」を母親の方が是非ご協力くださいと訴えていました。東京電力福島第一原発事故で避難区域外からの「自主避難者」への住宅無償提供を国と福島県が2017年3月末で打ち切る方針を打ち出しました。いまだ収束を見ていない状況の福島県に帰ることを余儀なくされる避難者が子供や家族の被爆を心配しています。この避難者の方たちの犠牲によって、今回の原発事故の収束などのア

ビールよしよとしている国、払うものを最小にした
い無責任体質の東電には怒りを覚えます、ぜひ協力し
たいと思いますのでよろしくお願いします。

閉会総会では佐々木祐滋さん（被爆2世）と Metis
さん（被爆3世）のコーボコンサート。佐々木さんは
「佐々木禎子」さんの甥で、「禎子の物語を語り継ぐ責
任がある」と言われ楽曲「INORI」を作りました。そ
して今回 Metisさんが歌詞を一部自ら言葉になおし被
爆、命と言うものを歌いあげました。禎子さんから2
世から3世へと歌というもので思いが受け継がれてい
きます。

今回も灯笼流しをしました、やはり広島に来た
らぜひ寄っていくべきだと思います。そして流し終わ
ってから原爆死没者慰霊碑に行くその後ろの方で歌声が。
佐々木祐滋さんが歌っ
ていました。偶然会うこ
とが出来、色々とお話が
出来ました。今度はオバ
マ大統領が広島に来て
くれたので今度はここ
から折鶴をもってパ
ールハーバーに持って
いこうかと思っていま
すと言うことで折鶴を
集めに来たと言う事でした。やはり今回は現政権の方
向性の問題点が多く語られ武力によってもたらされる
平和と言うものはないと改めて確認出来た気がします。



県西部の民商青年部が交流



8月12日に県西部民商青年部
が集まり、星空を見ようと童洋海
洋公園に約40人が集まりました。
南支部の影原さんと駅南支部の
大石直裕さんにアドバイザーをお
願いし準備万端でしたが、厚い雲
がかかっていてほとんど見るこ
とができない状態でした。しかし、
時折月が顔を覗かせたときには、
みんな望遠鏡を覗き込み歓声をあげました。

また、花火もやりました。大人数で花火をやる機会
はなかなかなく、大人も夢中になって花火をしては歓
声をあげたり、写真を撮ったりしていました。

参加者からは「みんなで一つのものを見て楽しむ事
が出来るといいこと、とても良いこと。またこういう
ものに参加したい」「リベンジでまた観測会をやりたい」
「最近ポケモンで下を見
てばかりだけど、たまには上
を見るのもいいね」などの感
想が出ていました。

最後は、9月につま恋で行
われる全国業者青年交流会に
多くの仲間を誘って参加しま
しょうと声をかけて終了しま
した。子どもを連れての参加
者もたくさんいて、夏休みの
思い出作りになったのではな
いでしょうか。



浜松民商・西支部のなかま 8月号より

ランチ de ママ友会 同世代で悩みが相談できる友達ができた

7月20日（水）、青年部
で初めての女子会「ランチ
de ママ友会」が、萩丘支
部（高丘）の Bar-B-Cure
さんで開催され、4名が参
加しました。30代、40代
で年齢が近かったことも
あり、趣味の話、子育ての悩みなど共通の話がたくさんあ
って初対面でも話が弾みました。また、8月開催
の県西部青年部交流会の流星群を観る会や9月開催の
全国業者青年交流会の話では、勉強してみたい内容が
ある、興味があるので参加してみたいと盛り上がりま
した。今後も女子会を継続開催していきたいと思いま
す。次回は中央支部のサントスさんです。日程が決ま
り次第ご連絡します。



浜北民商ニュース 9/5より

第25回静岡県商工業交流研究集会

「引き算」で伸ばす商売

基調講演は岩崎邦彦静岡県立大学教授の「引き算の
戦略・小さな会社を強くする逆転発想」
☆「良い商品がいろいろあるのに成果が出ない」、「長

所がたくさんあるのに選ば
れない」：なぜ？

☆単純に商品のPRポイント
を増やしていくだけの「足し
算」の考え方は、商品の個
性が薄まってしまふ。

☆逆転発想の「引き算」の思
考で、「弱み」ではなく「強
み」に着目する。品揃えも「引
き算」を。商品の長所や、品
ぞろえを絞り込み、量ではなく質で商売を伸ばす方法
をお話しされました。

見つけよう 地域の中小業者のブランド力
第25回静岡県商工業交流・研究集会
増税中止・平和を守って商売繁盛



多彩な話題で交流

分科会は、「商売の知恵・工夫の交流」「第2創業」
「料飲オリエンテーリング」「ビジネスマナー」「補助
金」の5つが開催されました。

第1分科会 「仲間の知恵と工夫から、 伸ばそう商売・売上を」

第1分科会のテーマは、「商売を語り、商売を学ぶ」。
製品展示にも参加した村松さんが自社製品を紹介する
など、それぞれ自分の商売、工夫していることなどを
交流しました。ブランド牛を育成するための牛の精子
など、珍しいものを扱っている方も。

第2分科会 「第2創業で経営改善、商売繁盛」

第2分科会のテーマは、「業種・業態を変えながら生
き残ろう」。最初に、業種・業態を変えるべきか悩んで
いるという話から始まり、印刷屋から終活のカメラマ
ンに、無着色の桜えびから安心・安全を追求して化学
調味料不使用の缶詰を…など、新しい商売にチャレン
ジしている例が出されました。参加者から率直なアド
バイスも。「情報・意見を交換することで商売の種や、
ヒントが得られる」「今持っている技術でできること
は？」など意見を出し合いました。

青年部総会

8月30日に開催。次期総会まで
に20名にすることを目標とし、部
長に服部勝宏さん、副部長に小野
祐紀さんが選ばれました。「今年の
民商まつりは？」、「交流研修集会
で商品のアイデアをもらえた」、
「業者青年交流会は、参加してみるとおもしろい」な
どが話題に。



浜北民商ニュース 8/22より

鹿玉支部

8月5日に
「暑さをふきとばそう」と
14名が参加し、カラオケ
と食事を通じて交流。仕事
の参考に意見をとり、商品の
紹介もありました。交流の
中では「民商会員の連絡網
を作ってはどうか」「奥さ
ん・お嫁さんなどの家族の
中での呼び方は？」「ジャ
ニーズのライブを親子で
楽しむようになった」など、
さまざまな話題で盛り上
がりました。



浜名支部

7日に楽しい
時間を過ごそう！「温泉&
食事を開催。家族での参
加もあり、暑い日でしたが15
名が参加しました。交流の中
で、夏の体温調節と熱中症
対策に1日4L水分を「地
域の花火大会が毎年恒例に
なり家族が集まる」今年
は子供とキャンプに」など話
題になりました。また、夏休



みには家族で参加したい」と、
感想もありました。

北支部

6日の「ビアア
ーデン」に7名が参加。野
中支部長の乾杯の掛け声
で交流会が始まりました。
「仕事がなく単価も安
い」という話しやくらしの
話題を交流し、鹿島の花火
を遠くに楽しみながら親
睦を深めました。

